

# 感染症対策及び注意事項

## 大会参加者の共通予防対策

### 1. 感染予防のための4つの基本行動

- 体調管理とその報告
- マスクの着用
- 人と人との距離を確保
- こまめな手洗い、手指消毒

## 大会開催中の予防対策について

### 1. 選手、監督、コーチの感染予防対策

#### (1) 感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会参加者は当日に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。
- 受付時に、大会当日に体調チェックシートを提出する。
- 参加者は必ずマスクを持参し、スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさをを感じるようであれば、個人間の距離を確保してマスクを無理に着用しなくてよい。
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- タオルの共用はしないこと。
- 飲食は対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず、速やかに食事をする。

#### (2) 試合中の感染予防対策

- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは原則マスクを着用する。
- 選手は、ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- 運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。
- 試合中、選手は唾や痰をはくことを極力しない。
- 試合中、選手、監督、コーチは大きな応援等をしないこと。

#### (3) 試合後の感染予防対策

- 閉会式・表彰式を実施する場合は密集とならないようにすること
- 参加者等に感染者が発生した場合には、必ず高体連に報告すること